

令和4年度幼稚園学校評価（出雲市立神西幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評価		
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	・年間教育目標及び月間目標、週間保育目標を計画的に設定し、日々の保育に活用している。その結果、保育内容全般について、保護者からも一定の評価を得ることができた。 ・教職員アンケートからは、「教育課程の評価」の数値が低く、評価を保育にどう生かすかを検討していく必要がある。	3	3	・年間計画に基づいた保育を着実に進めてきたが、地域の自然や神楽など地域文化と連携した活動については、今後も継続して進めていきたい。 ・毎月の保育計画の際、前月の保育を振り返るなど、教育課程を定期的に評価し、次の保育に活かすよう努めたい。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	・各担任は、2名の補助教諭と養護教諭との連携により、園児一人一人の特性を捉えながら的確な保育を行っている。 ・保護者アンケートからは一定の評価を得ているが、教職員評価からは、さらなる幼児理解が求められる。	3	4	・園児個々の個性や特性の理解を図り、個に応じた保育ができるよう、職員間の連携を図るとともに、日頃から保護者との情報交換をいっそう図っていく。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	・特別な支援が必要な園児に対しては、本人の思いと個性を大切にしながら、全職員で共通理解のもと保育を行ってきた。 ・教職員アンケートからは、支援を要する幼児への理解と計画的・組織的な指導がさらに求められている。	3	3	・支援が必要な園児について必要に応じて「支援シート」を作成し、職員の共通理解のもとで活用していく。さらに、保護者との信頼関係づくりと連携に努めていく。 ・神西小学校「幼児通級指導教室」の利用や情報共有を通して、特別支援教育に係る幼小連携を深めていきたい。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	・昨年度に引き続き、教職員研修やPTA研修を通して職員と保護者の人権意識の向上を図ることができた。 ・『あったか♡はあと』をキーワードに、日常の保育の中で生命や仲間一人一人を大切にしている指導を重ねてきた。	4	4	・教職員研修、PTA研修を計画的に実施することで、職員と保護者の人権意識のいっそうの向上を図りたい。 ・日頃の保育の中で、相手の気持ちを思いやる態度を園児に育てるための指導を継続していく。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	・新型コロナウイルス感染症のため昨年度できなかった行事も、今年度は開催方法や行事内容を工夫して実施し、幼児の体験を縮小させないように心掛けてきた。 ・保護者アンケートからは、概ね肯定的な評価をいただいた。	4	4	・新型コロナウイルスへの対策を考慮しながら、これまでの行事を継続する一方、より幼児の成長につながるものとするために内容と方法の工夫改善を行っていく。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	・小学校での行事見学や授業参観など、園長のほか学級担任も参加し、小学校の指導場面や児童の様子を知ることは有益であった。小学校の担任にも園での保育を参観してもらいたい。 ・神西小学校幼児通級指導教室を利用する園児について、小学校との連携により、成果が出てきている。	3	3	・取り組みが、保護者にしっかり理解されるよう関係づくりをさらに深めていきたい。 ・出雲サンサン保育園との交流を継続するとともに、小学校での行事参観、授業見学など取り組みを進めていきたい。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	・今年度、「読み聞かせ」「礼儀作法（茶道）」「レッツダンス（ズンバ）」「さつまいも栽培」「神西湖を知ろう」の5事業を展開し、どの事業も幼児にとって大きな成果があったと考察している。アンケートからも、一定の評価を得ている。	3	4	・新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、地域人材や団体との連携した活動を可能な範囲で積極的に実施したい。保護者とも連携して園行事やPTA研修など、見直しを図りながら継続していきたい。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	・松江市内の隣保館を全職員が訪問し、地域の歴史と取組を通して差別の現実を学び、貴重な研修となった。 ・出雲市幼稚園教育研究会が行う研究発表会や保育研修会に職員が参加し研修できたことは有意義であり、今後の保育に活かせるものとなった。	3	3	・園内研修について、人権・同和教育をはじめ、保育技術向上のための研修を進めていく。 ・夏季休業の機会を利用して、市幼研とも連携して職員の研修への参加を進めていく。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	・個人情報に関しては、個人情報の漏えいにつながらないよう園外への持ち出しを制限するなど管理を徹底している。 ・保護者アンケート結果からも、高い評価が得られた。	3	3	・個人情報の管理について、引き続き園内研修などを通して全職員で共通理解を図っていく。 ・USBなどメディアの園外持ち出しについては、運用規定のもとでの運用とする。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	・避難訓練を毎学期計画し、園児や職員の危機意識と対応力を高め、意識向上に努めてきた。 ・「引き渡し訓練」など、保護者への緊急連絡が必要な場合にはメール配信システムを活用し、適切な対応が実施できた。	3	3	・火災や地震への対応訓練を実施してきたが、いかなる場面でも、冷静で適切な対応ができるよう職員の研修と訓練を進めていきたい。保護者への引き渡し訓練を継続して実施していく。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	・毎月、安全点検を実施し、必要に応じて修繕を行い、園児の安心・安全な園生活につなげている。 ・園舎屋上の雨漏り修繕が完了し、園内環境が大きく改善された。園庭と遊具については、日頃から園生活に支障が出ないよう目配りと点検をしてきた。	4	4	・毎月の安全点検を継続実施するとともに、テラスのひび割れなど、必要な修理については市教育委員会と連携して計画的な修繕を進めていく。

※評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する